



## 追手門学院大学 国際教養学部 松宮新吾ゼミ 教えて学ぶ！小学生向けの英語学習教材を開発

### ゼミ活動で英語学習教材を開発

英語教育が専門の追手門学院大学国際教養学部国際教養学科の松宮新吾教授のゼミ生達が、プロジェクト研究の一環として、オリジナルのアニメ・キャラクターを取り入れた小学生向けの英語学習教材を開発しました。

昨年11月に開かれた大阪府八尾市教育委員会の「授業力向上研修『小学校外国語活動』講座」で発表し、現職の小中学校教員から高い評価を得たことから、実用化の準備を進めています。

### 英語学習教材開発の背景

教材を開発したのは英語教育の手法を学んでいる松宮ゼミの3年生の女子学生4人です。開発にあたり学生達は交流のある大阪府門真市の中学生26人に英語学習に関する聞き取り調査を行いました。

その結果、ほぼ全員にあたる96%の生徒が「将来、英語が必要である」と回答した一方、「英語の授業は楽しくない」と回答した生徒が半数以上にあたる54%もいることがわかりました。主な理由は「教科書がおもしろくない」、「授業の内容に興味がない」といったものでした。中学生たちは英語の必要を感じながらも、英語学習については「楽しくない」とのギャップを抱えており、これを解消するために、2020年度からの新学習

指導要領で小学校3年生からの英語教育が始まることをみすえ、小学生向けの教材開発に乗り出しました。

### 開発した英語学習教材の概要

開発した英語学習教材は、文章の構造についての「気付き」を誘発することができることが特徴です。オリジナルのアニメ・キャラクターが登場し、子どもたちに語りかけながら、体験的に学びを深めることができます。

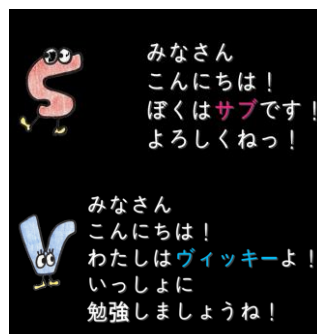
登場するアニメ・キャラクターはサブ (subject: 主語)、ヴィッキー (verb: 動詞)、オスカー (direct object: 直接目的語)、オリーブ (indirect object: 間接目的語) と、キャンディー (complement: 補語) の英語の基本5文型を構成する文の要素にちなんだ5体です。このキャラクターがかけっこをしながら、到着順位を競う中で、英文の語順や構造を体験的に学ぶことができます。

### 実用化に向けて

八尾市の教員からは「ぜひ使ってみたい」「子どもたちがのめり込みそう」といった感想が寄せられ好評でした。これを受けて4月からの実用化に向けて完成度を高めるべく、引き続き改良に取り組んでいます。



八尾市教育委員会での発表(2017年11月24日)



開発した教材の一部(実際は動画です)

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL: 072-641-9590 谷ノ内・足立